

「福祉の仕事」出前講座

宮崎市立田野中学校 3年生 108名

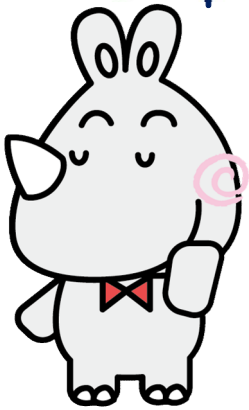
日時：令和4年8月26日（金）

場所：宮崎市立田野中学校 3年生 各教室

講師：野崎病院 加治木 邦彦 氏（精神保健福祉士）

宮崎リハビリテーション学院 長友 典子 氏（理学療法士）

高宮病院 前田 夕貴 氏（作業療法士）



じんざいくん

田野中学校のみなさんは「総合的な学習の時間」の中で「進路の実現に向けて～自己の生き方を考える～」というテーマで学習を進めてきていて、3年生では「福祉」「防災」の視点で福祉の現場や人を知り、進路選択の参考にしてほしいとの希望で講座を実施しました。

精神保健福祉士の加治木氏は、医療福祉相談室での仕事や、普段見ることのできない病院内の様子、認知症や精神疾患の方の支援について写真をたくさん使って話をしてくださいました。

理学療法士の長友氏は、理学療法が利用者さんや家族にどのような変化を与えるのかを動画やイラストで説明してください、また、ご自身が東京オリンピック・パラリンピックにメディカルスタッフとして参加されたことなど、資格を取得することで関わる世界が広がることも教えてくださいました。

作業療法士の前田氏は、祖父のリハビリから作業療法を学んだ経緯や多職種連携、他のリハビリ職との違いなど、事例を挙げながら分かりやすく話をしてくださいました。

田野中学校3年生の皆さんは、これから福祉体験講座もあるので、福祉の持つ力について、ますます学びを深めてくれるとじんざいくんも期待しています。

